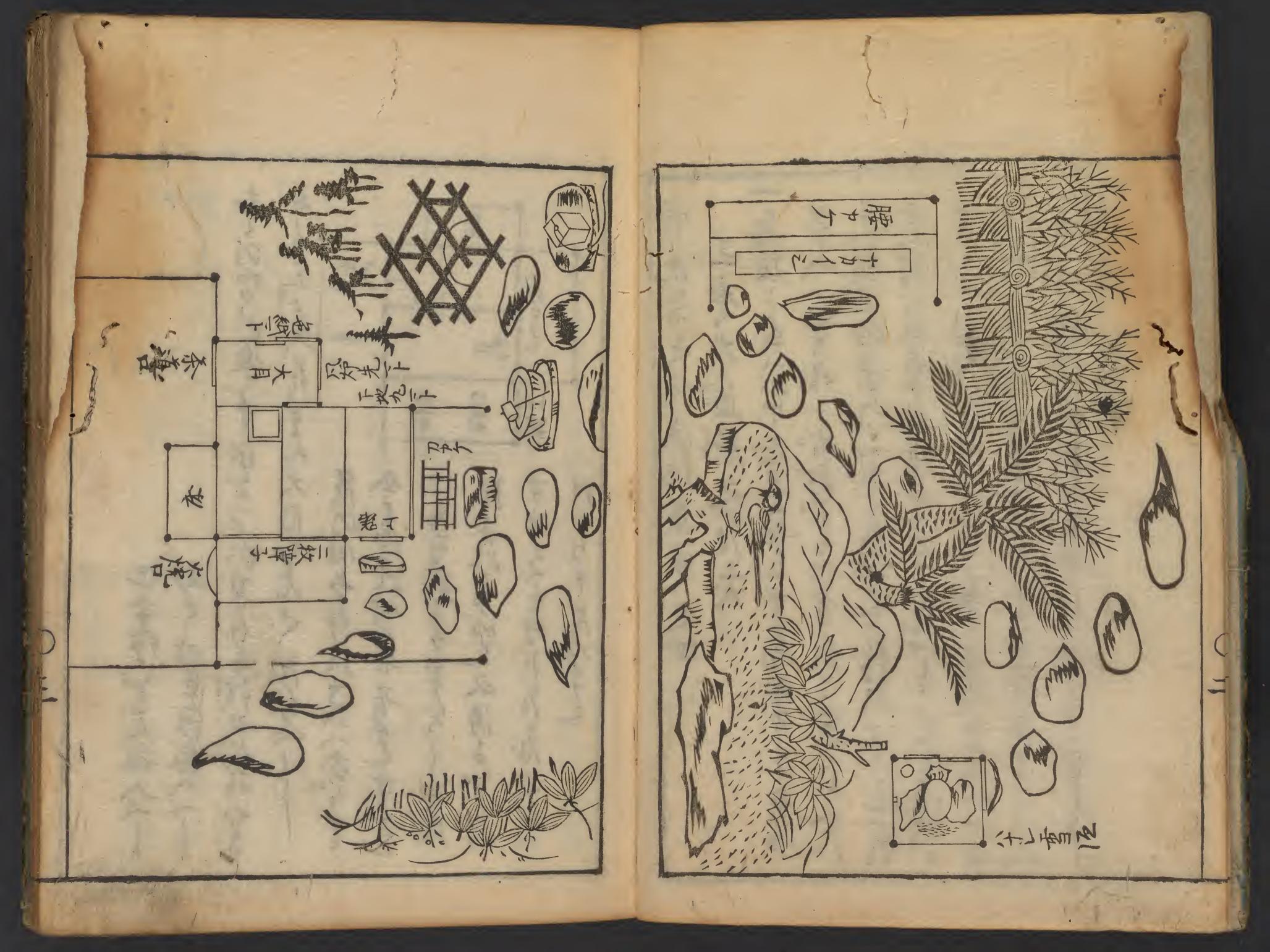


衛流谷之伪係仍係外非之四月谷 己愛大迷ろ多面野 四多半海络分之方面 て多項的発行数の大高 できなする人 三郎大阪信子教 妖後之之大 らを強みよめの高 り気の付合。雁之行付代看 り以前は意人之方 茶るの的意名れんなの過

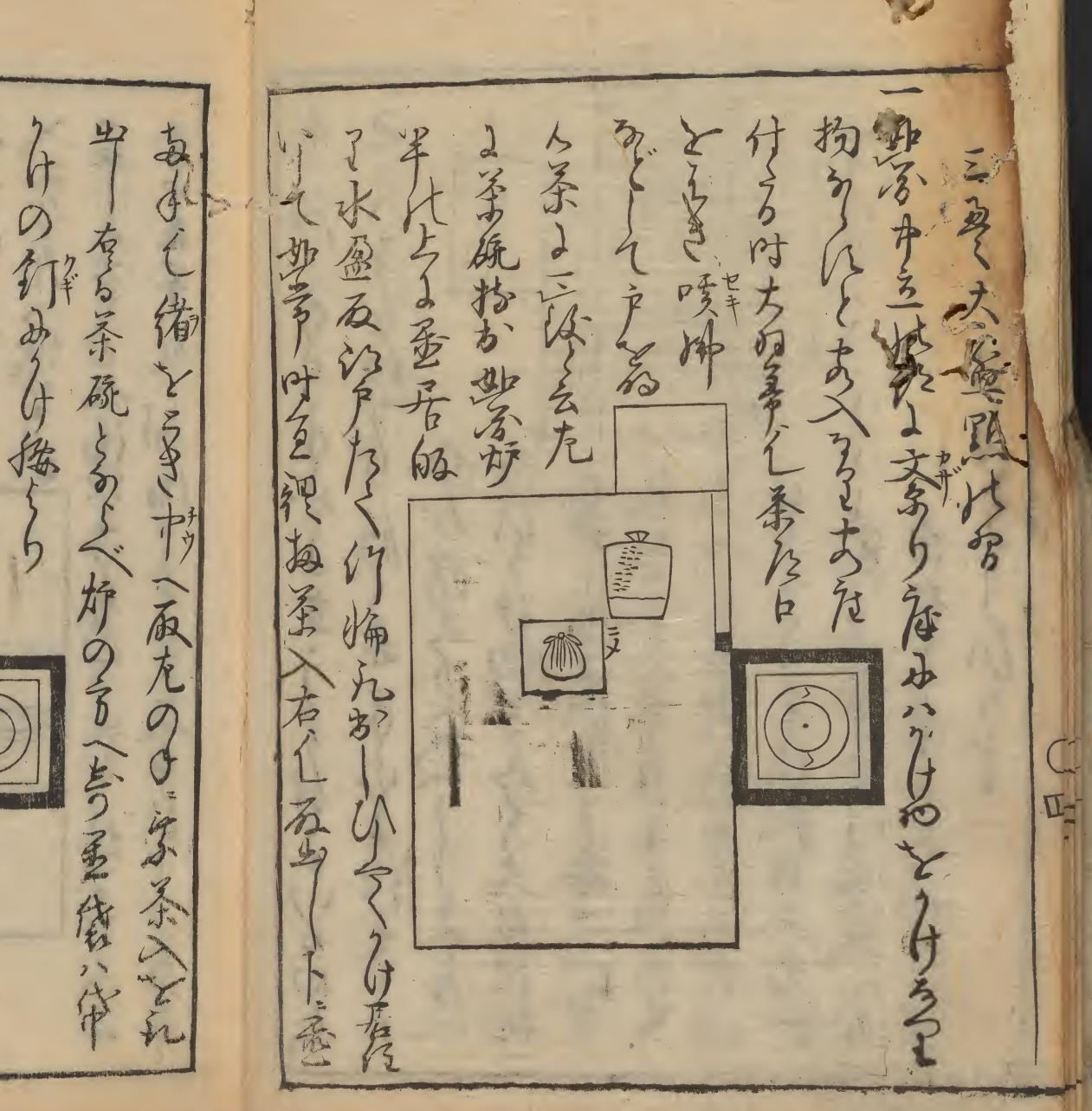
強ながあるまる天月のうち うる状のな 門成之の古 仍成之小孩子子们看人的之 竹数多なるる高宝なら之野代高 门数考合の大高多句的 世人で多のるが、なとなるとの 竹多多場の格子之か多之時 許之大事十七ヶ条之目祭 年可之失事士八子条之同级

成立記 一多點とろい常之不行力は分面上を 多人となると又れのよろうるかっと 高流杀之傷偽偽傷暴或之之四 中でうけどなちろうららしたちち 必いろの時過過かけっくるはること そ到主の子へてしてくりれれた あなくうけきいとかりってもはのとと 三多大遍野之地太

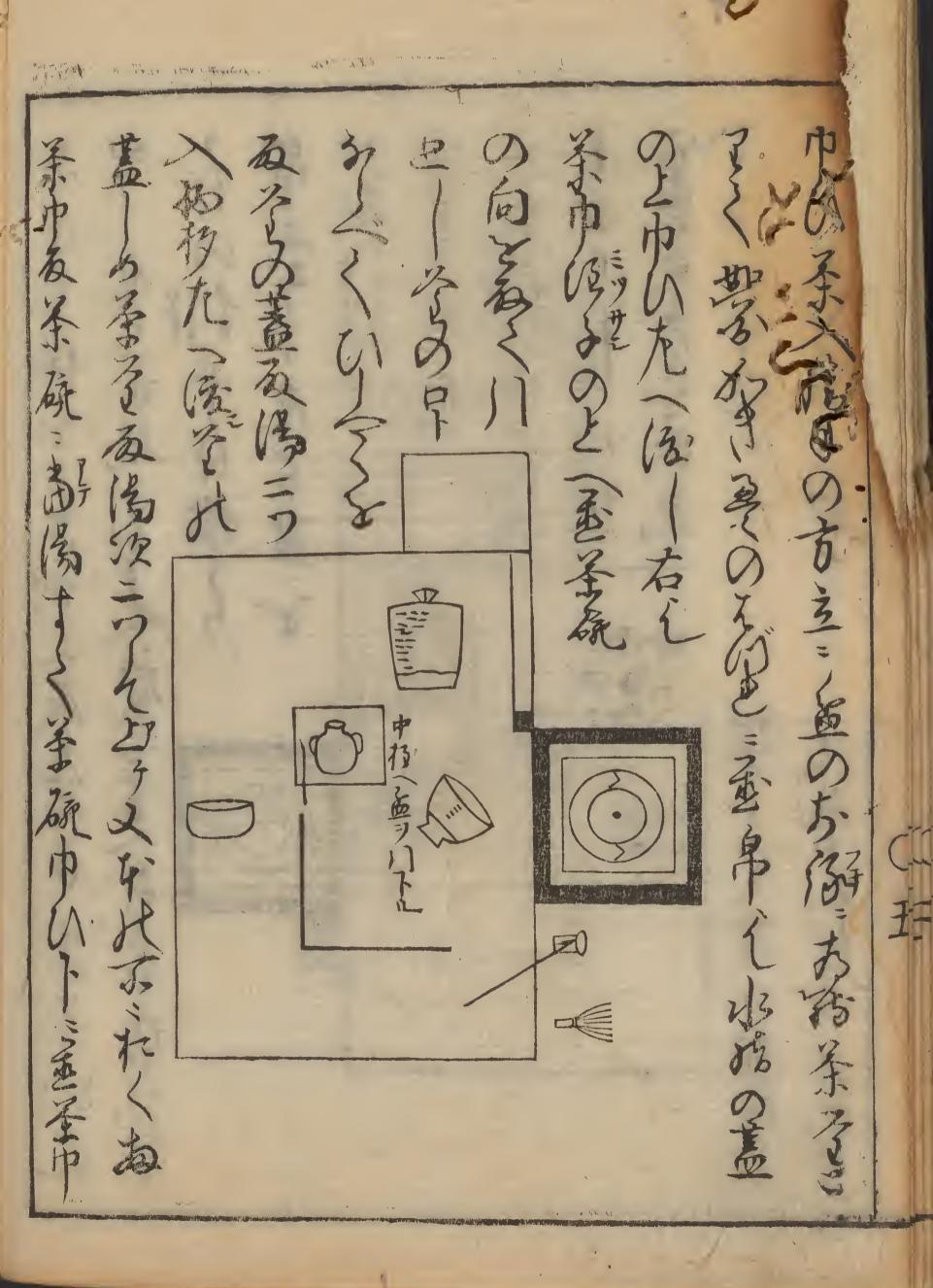


大口八百 勝けかける内方を空上上一世多級教人 たののけん通しき水とフへのりかはの品がなう 宝石入之 奉 を上が入れる人人同人人人的好 二枚セウン がらくるときをとえる人 全ザ 04 器工 気の付やがけさいへあうう 今年代时分北天了 けんなかろうちょうか 111 一十多色

一会解る了る水山五三 広 るくる か名 十 目 ZULD 三枚障す りのうりにいるよかなはち 極くも多りいなとも うべんかか 路上 らるからるまか あるろろくべ まず! 向いりけゆとうろ 社 てこくとなかがうへあは ひるちてきなけ けるとろうしあすべか ー条へもか りる内は



安全又席と改た あるしは一個一個人 帛をがしたると んなる いるできる格切 と中八角八宮中 そのうなをして吊るが Billy 上が上 河 ら西のきい るものい



おららしまる物 去明文母とうくとでる 死 多色口とろ うらる事物 つ人なられるからち 以先をとめ明るようはる事物及名とは 強し人物はいいかくまでるめるち 他行子と右に茶入る意面を題の点中一番名 成然のできますのの方(居をうる いな意とあくす いかけるるの *なこみぞる 一条を 4775

中は色子のあるる物はからから 年版了(意思れか)

それなるなる中といる

書る物があて 水でいてく

トると子の例

DANNE S

いるというのかという くそんまなす

してはれとするくちのあるいちいかいか 一金いるいろのくうとるまでるま

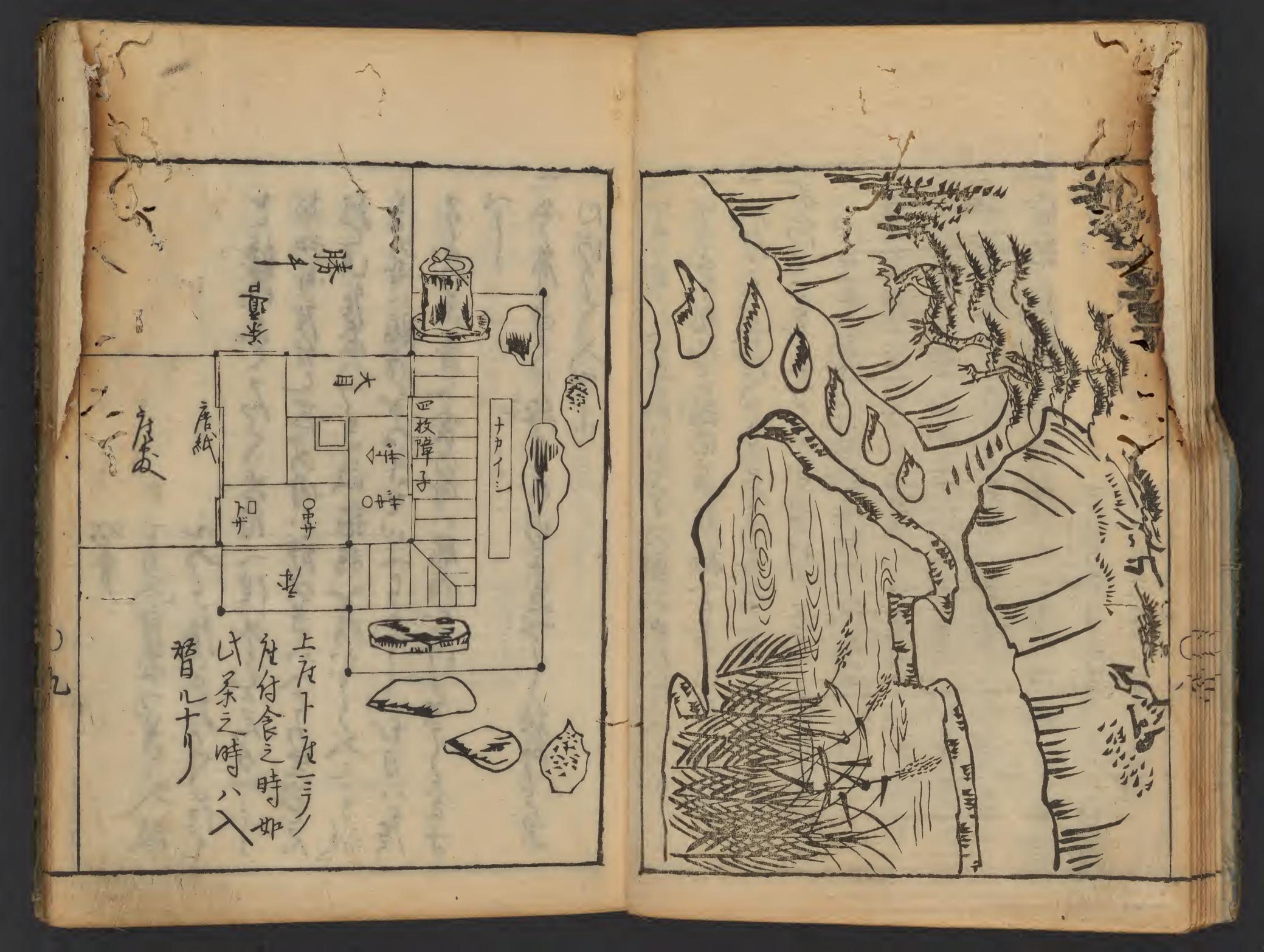
一位の同ちからり中の小れるからか らる 你的人一个的人人的人人 多へいけのられるととととといいけのとなか 何かりからうろろへれるむらは それはとうり水物の意とするけん 上のかくられた分的支上を強う同られ常 る地帯でにはろううであるこので 一局よるる 一些帯で多人中いあっちらいく るへんか を気です あらけ一ち

一多ないとうからかった

多十年初

頂傷するな人をからる幸 いきるからる るかとるうかろの 時了るる如高不多金 古おううる中 小統のとき したへる去 で多年一色八人子子玉不苦多西の角 いでの川板ちあ一川着る りろけるとするはいけるしてると 大连路的蓝蓝 选名局司 ころならなってはてきくし 墨

右后とると野くい小愛吐了多多 像茶碗的人外并是多人多人多人得得出系 節的的為之作也以後十八考二万名 一き半之過點八条後の雪不中役の外 で多半松的之類の一些恐松一多多的的 からら又りな残しい古的声音を作ちきい けずるかのうななる。そのしちは色、常多 八好之過だらと多なの多不力行の 事中以後的後都後不成之不之 かけれるいための付不妻をしるいろう 墨



ははまい大松が武を 三次の母い肠ちととうとていへらろう 記はなないつぎ故るるとろかり ねか局からところのかかのきいくう とはあてとろうちらしてとろうべ 今年っていなるよりなるで る山を進まかり、光かるはとろ で多半之人人人 しなき重しなの時い服的とり りくなるふ も可以後 りからとろ 会さ

込せるのえ 部廷万帛 して必ず犯 とくる 落かきの心し物物文のりあり 終めいろうりちへと 勿論なのれぞれへ 你加山给不然之事

えかる向い

水九八小をあり

必看をから

そのかとならいらいるいるようのち



全点とのぬりまの なりなるアイ 多りる公分子 三辺り入るとけ い腰よくなといてえる 帛及出一人の るる名 上ることを心心局を とあるるなろうなかりなみ、疏とるかとはいい高松

きのんできれいと又鳴次ニア

化とる

上一番多りりな

STA BANGE

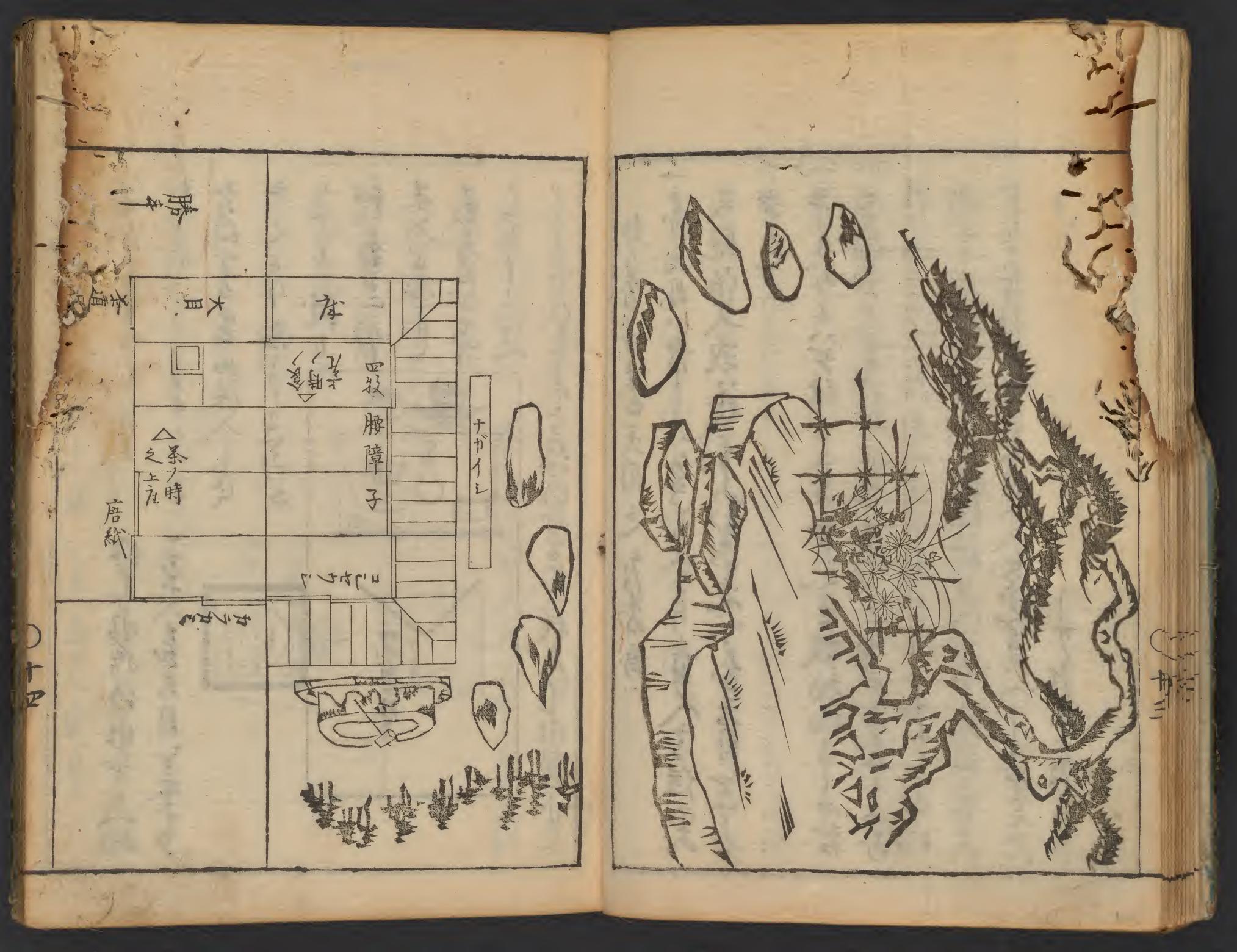
かい金沙な子人元系

られるとかれぬから とはれる とれるている からして又紀からか 傷をう人するさすくなのすぎの傷と人はわか 子統合く 多方は好人多人之人物一之子的で らとえら 少ちの重る小とうと ととうトラ西 地切れてのであり いえれる

うないろうのでしての中であかりしてる るのないないというともしてるのない ゆいるとういうるというる上山一あわるくろうん 透水的像をあく中心等疏 防いうんぼう伤い対付は公子偷然の 色はどはようけいといういろのは ういるうしるととの中をはってきる 老城とりの時方被ありべる人之為二 く不不すが必不中名季硫元吗す とふ傾は付るはういろうちである 八多名的ある人人子統格公司為 ろろうの 极性鱼 うり外

をなるるともうりゃかくけるうり ~~~ででしい自然よう他でないかれけるるい必 一はるないるれとはくうとうなのかのか 0000 代的よ数物と重要を松八子の水電後の るるるるの 速しかかくる人中いかとるからられい 多了多り地方信人了る何言 1元間は付名に八水 夢りなり アク

100011 2高元化了人本化 るようないかけるさまとく故物物 一多なようなけれること多しもけんなしから 又親仍父或我们我们的人都是人多人的人的人 式をらうえんなつぎることをつめいかか ~り服的となら大的へ入気をとれ~~ 文年をかちらといめは納えべり大同のきい 好多了了多大同之分数局 でして

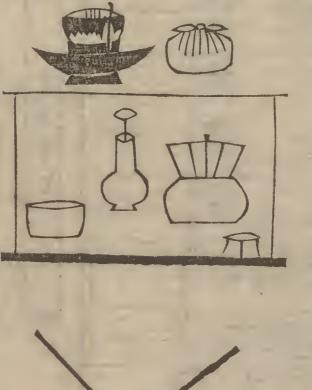


今席るでは少多生代化物的的少人的 定く席をしてるみが 多的方名的成人 多多多天成之局 方井としるとろう人をあ去国と文本

ちまるしなと 経事る合い

圣入どなり

もなるとはという



能向に作る ラロス

音多り、げぬいて少事一世をと独当

でするではもしてる物のけると根たて心る小

なずと常るかり茶 天月とるか一条人る後かか

入中小學公里多种市

いりける余を

井中小帛腦 あくかくべえ

よるるとる

をかりる

んなうりょうかっるるる えどれめれてるろろれ 上れるとる 延魚

多は塩るぬわられるなる場から のうけるとあるべきるとるまとしてす

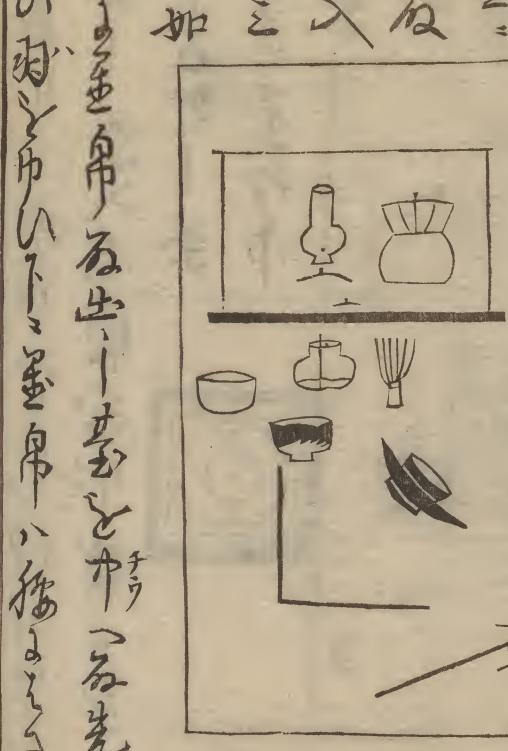
ないてる場一あわって

たへれなしるるのできす

いてできる。

天日の分へ ずれ中人 ける多くる

つ傷欠してか



家際のうきまのるよりまとか できゃかのあるのいで変像いた

る中面くちの大方の大方人 くってくっているのかろう 次二中气不多中的人意思多中面陷于

ろうらうなれ人とろうかる

てもなる ともかのる 多人人多人 ほど

女 同のを



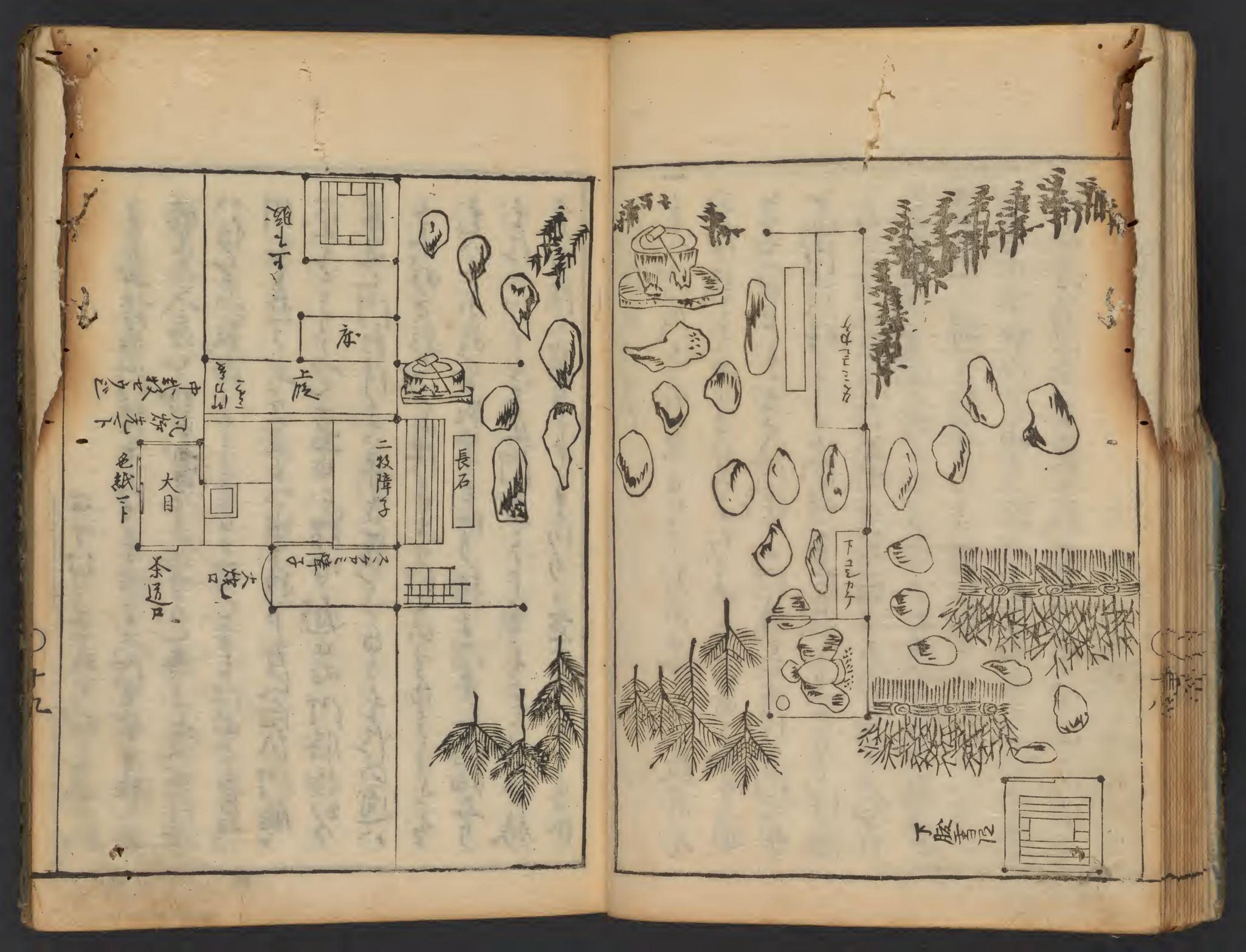
こうまくかくろをを入めする るめんるいかけるストけい

中名とうりかられちでろうちもうで えからむ大月的しゆくとえ着うともく そうりもなしまかれるからなのなが一次言 意外が代入かりをよりるるるる 中る中いてことのイナケーくるうちでかろう かろうれてきるとぬく大月る一つつ 我のされいでもれいけ入るち四きるめと すると又は入山かれてるるでへかくる勝のとる さんしかけいとかくかくるもれかりろとれるとれ きるかるちれるころしりのまといるれ場 ける事がはとするくの命を行 えりへ入 的人と茶 地名オ入

一大人作力多人用多数分的的人多人的人 くろがさいちまろりとく一口のをなかい えん あのといれてもとならりなるがとけ るとはろうりんのうちんころべし からるまかーろろれるちくるとは一つうう またりかけるよくりり又るころうとうなるおおる 意意さなるようのけらかるろうくととしかる中かく あり小ろれつくすりいくれぬかる 大的多人都是去了人的名人的的名人的名名 初りれいつへろの意とろいてるかるになった 不会人人多的友的人等的明心是知识多人 二版

分析さいるとと中のもろろとなる。 するまむしちたへのというなまるいちんから よめずらとするとろんとろろくくろう 日本なりたねい天同とよれなは同ちときら 我人在公子为此人为一次作品 全的方因已必得到一部部一次 くるうろうち同とからころのからなる 一個也が好过去数都一個也面对 りと過とうろう 十ちる

かまてきましてくるのとろのちいろう えしいけるとうくろへをはりからからなる 付人就一的的公子的一门了路的行行了一十 委門委成文山教之所 名 山村の門先 今りの不分改户かく りけかく 記多をのかなせ 人門機場といいかるの後とするとは勝 あるる日子中华了时城已 三位八四日 人的成之時系用了了方名を入数多多 の作機と常といろようよし、方高は出き通 門成之次子 けらうできょうらかるへのる過せる 一三個と



ある人がた人でなけているといったとかられ い信とか取りくとけりからすいはとときる 勝る八人民文物が如常一层ける一局上及民法被 毛八小はとれまとのり格はな 至とうでで多山の作的通的門隔勘的 をなるでとりる上門直下十十十七年小城 本名でかれけていみき歴とするうそれの通い 了些該局門禮中了るなは人の言ならぬ 方のはとりまりしょうりっきようし 門之子经之去了之子人少好市人人后 う小なとれるとうなけるしているのするう りからう いり階が のしる るかれ

地域は多名下於三倍方以 松はるらるみかくるまでとうとうからからは先 多過日と的護布。川茶三体を力がるのか れが過去人人自然云花至入れお人、本と うろもはいくのちいうろれが解落す び必然為人了級高代本矣、八十五人 の酸とよるを何えくなおるるるい ろ物件よ諸夏とうぶがサーのかう 小小なろうか教芸のなりとううのえるとい あげ

入孟名物了哲学系是竹多远之教的多 一方之时の方意院の立むりより上高事紙をひるる 人があったけると うかかけがあまれるして砂石のけ あると数ちなりつけるとける大日のなりいい なると用の門路とろとから水砂く数をくる 門神にうる物、当りようかるからから 夕勝、多分の本人打成人立然、八人人人 が過い 先大書院へ多大門路本色を多名多数多門茶業子八件下水雪と変解ようなり とりのろうととしてもうり 子のの気もうり むは年代三日まとこの際いうかんしるなけい幸 をううのまでるとるなっともの方を気の気象 するといかられーうくしょうかから けをきえいなりくけいにあるのたり 什么でし らずののファクランを吸げる人か のなかなとあるところうと うととうにでしても回るかからうというない 神なる 为出

一多場は数を見るさん、名大学院で表 一門勝とようある門勝中包書は気とそ人意的 なな窓と風べり 門子人多人的什么的意思 仁康系よるは付い去る天月の金遊し からなったのうとしてるとう あたっちるの好とうあとむいの付も 出といううせてくれるがいってれると と念せらんようしあるもだりな 門都に下い門自分一人分多べり 上地上行回はそ人名者一人的家庭之 へをベー へるると

一ちくけいがあいまるの通失ないしんとうこ 行外的現場的数高方子とあるからある たくいかかるといくとなってしまするろう となしするとはる水物とかいのかしす ろうはかんようのうの水八人手はあいく そいたいとうりかっきよ水ではのあるちろう いろる多ろうとへ変としておくよ かようとうできるいうるろういうの 同いできるとといいれるとけらかとへくらう うけくろりりりかかるとうけるかどもと るとにからぬいであるでいろう 一色了他

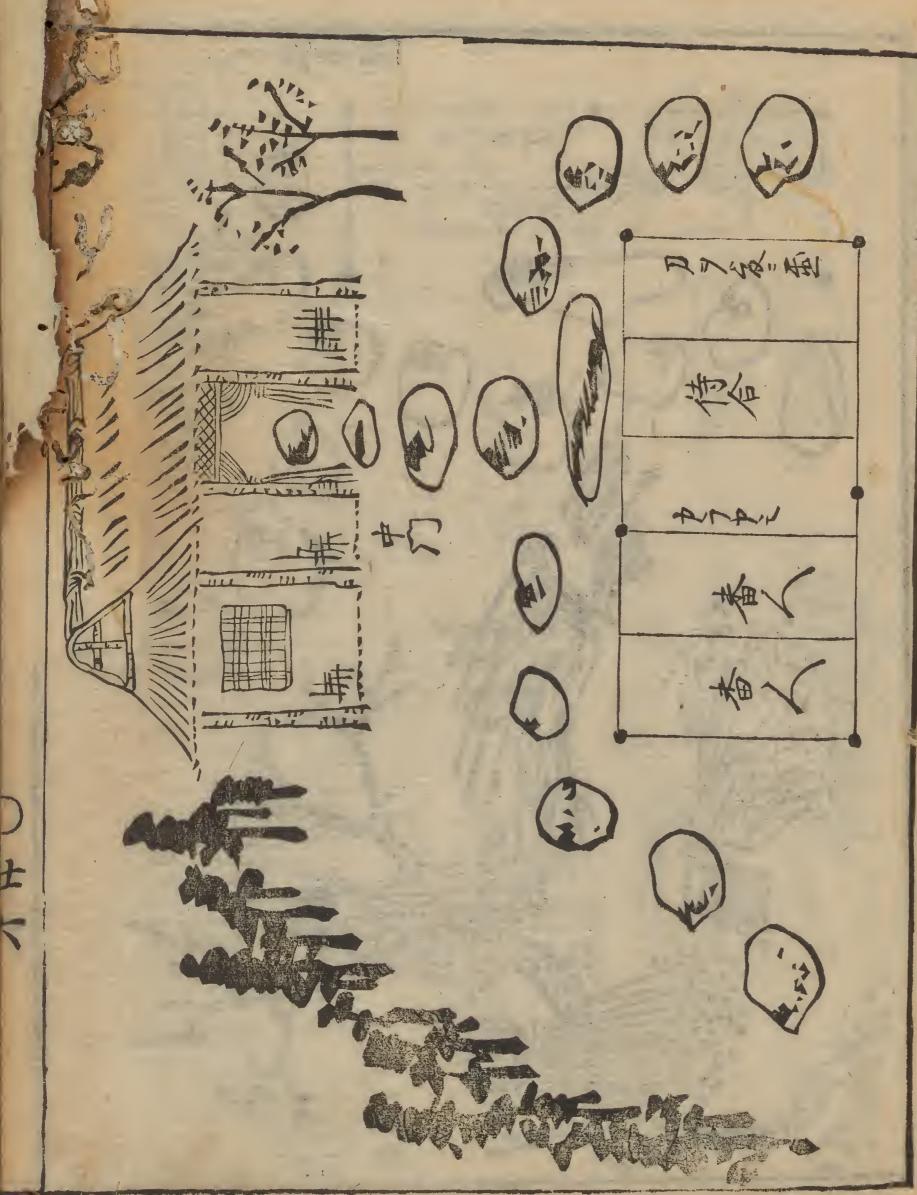
多分代け了同分人心不過上的人初之以及 あるところけるるよれ可ないるとは かる。一年も大心なちくから 大声院とれのとうかとうのろくろ人にあける 事之以何以外多的代码の名 門内付とるべ おいなのかあるるとあるるころ ししきのうにているるとしくこととなるとう かくいかなるい同りとよってあるかい るかいるととうましまりつなるのうつろう 同心などに香味なり人故や を門目はは対なとれ

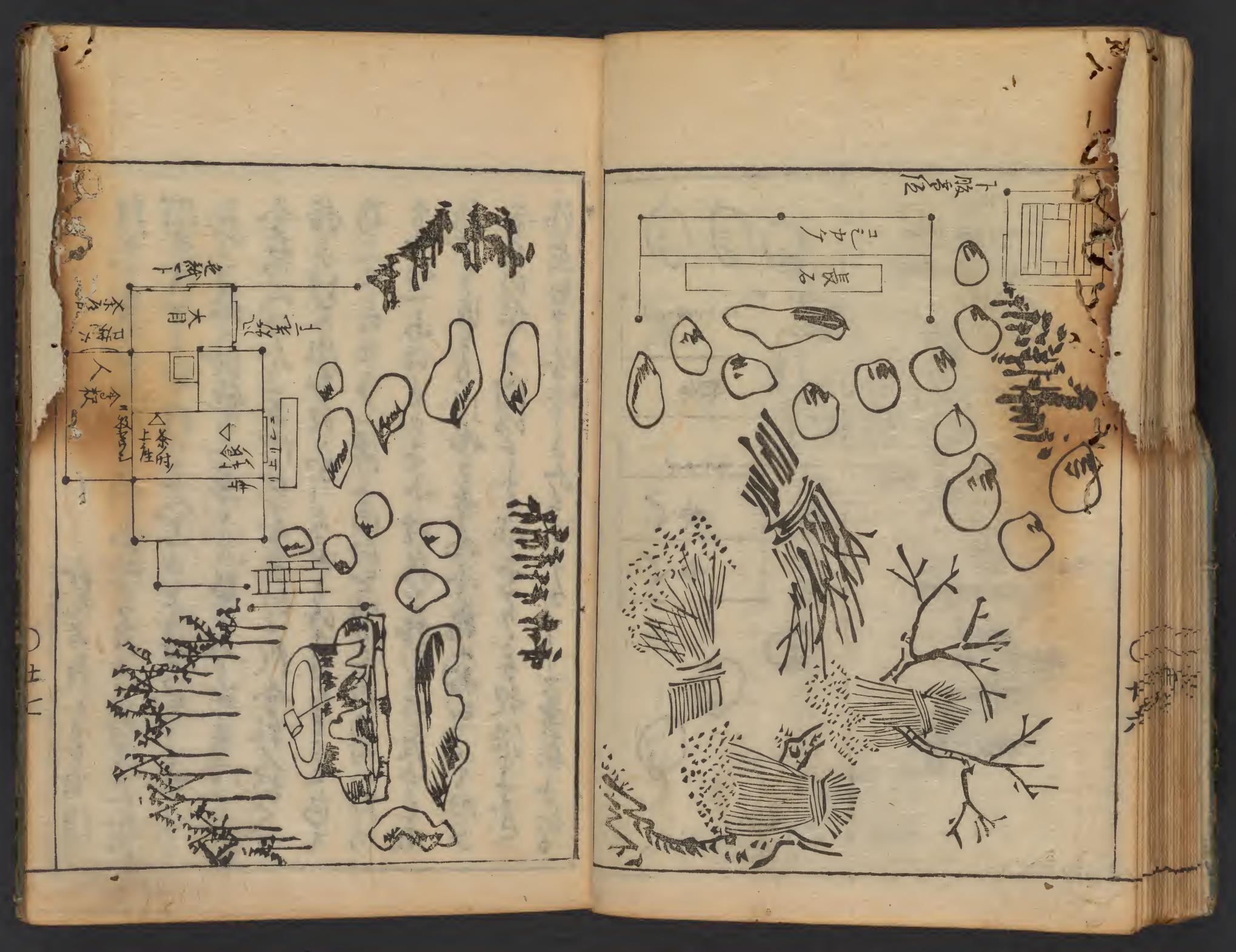
一村もかからろうととくるといりあられなったか 一門院本八自分とをとう事心格なとけるの はまらのことるとりつり、数多なといれ 多なではますも 三はそのと事気のようとしていわめてきる人から 院、ちの一個ではんかんかととと、物のようない おはいいうからりとかまえるられるなけるかり 又多なまっとかりってるとようはから気のなか 今とらく代内童出内と話物生 のるとようけいかんしい自るとそろうな 少多人 りから合

いるからからいからくい 一人人的大地位的地域多多的多价属之一 右方局はよってかずれちなるからできるか らるなってんなけべい 時は一一物をからくのり相中とろう 門枝尾紀ろ勝んける町至多と上上の一人のこ するなととうかいかってあるり数すべ 常人何り又之人から過去时的人外个小五路人 はないかかられてくいっているからいけんとうないからいははようべしかあゆいとうしゃけるあいの 一名写的為人 を紹介

の多いのかの形の一般とはころ多 はそのかけるちゃくろうれからとありない なけるくなちあるくな物ででなって るいらいるからるるでいっとめいるとうと 那水多多 ろろうかうけんとろうの功なんかと というのくるといるろとなるとしてかり かしまるとういう

とはとするあるとつきくわけく となるのけゆとろくするとろれて からとのなれ 月一般的家とろうといあるとはく 相塞多少人能的一场中的 下はなるとなきり 中の降るとのつかが一部 から入下からすべろかは からなららいちのかとり 产公平的四人们的无治行 なとうとよいをする トラヤ けるるいると 503





あるとうなっちまの一方のとよれいるとはいう 高色からしかぶろうかりかるとの ちのうちときいめろういかのようななのであっちい 防災也因为りりから年的今教人物的人行力 方でないからとうるいはんとおりろうたかしる 門書をといけれてんかっとうないか 杨多的的脚犯的一个人的人 今秋くのか。をじまるなれれのあるか 利うととないことはのちのらといるとはの内が好め 砂ののなるがつろうなででうちれ 了了路路路不足多地大人的 りるるまかかる

るとからうのとろうのとととととのという はりよううとうくのうけるうきたちま 紀中よるを付りあるのう今秋は方でつう 火焼の金教人がける比降るとの品とける その近けらしく 人からかにとるとでき渡すか かりとありとはらうれてとるとるが統 色を念機ある。就通可的我的名物と 此付す水地のううなる一角いりたるでん ろうきをからる事かりある

Dit

方、名とからくなり一個かりのと うないかとかられるよのものででは のかろうちのかってあるるのかり ちくとのとろくちょうろんしかん るかれなれてはったれようるころのと れがうるのき中からくのれる ゆっても人のかているすめれいあますちり のゆるとうならなってるよるからはらうない おきとうとけ合れくしかりなってい からずそりとはんけらりるろう人かろろう きは日日十三子紙をかれたいとはよ

有有心を与之有ようならり事力的書面是 る人はないりはい物はないかろうな事 多の分子 でとうのようであるるあるではする できたちまったとってい 及多的又一人像一人的家外以死人人的感染 りから去にはよれるからりて必り えて必られあるとからられているというのです 今れてとかったなへら也からこを入又名のと とろうと人又の多意味をかろというけらう 之はちましなるるるからであるよ

が条けつきいるでるなめるな しるがなかなってはつるころく大けるたの後の 代後少少了多人也好一二多年代在先代後 一十つるかとるハママとよるようのうころとろる ないれるいはるあかかきませんかとれませかい 一なる花りの的八人ろんぼうなるたるさはい出 天月走盛 蔵天月 御りて同 体勢天自天月北水人にいいさん よいいさん よいいさん よいいさん といいさん 自 かりかっていっと 金八少八水北金長金で方金らんと べかできりかる ぬでうけかる かりきり 了為金養於力益了了各個松枝 多少な世界代帛八自切れれるのとき を人子外の串八車がるるかかくよ 何あるべくなべんろんのとあるが 多ある人性中遊太口は くらっる半ようななってするかには 分本化了死色比点的是人外上各人比如的 多見代子的推動去了 多人高多的人的 他中代子八次一人の海中安心 さんかり心と他に習ら考けむるい いるからる 自さのは of Borne なる

大日本がありるかかったけらからう 五六月八八十五十年1年1一八人人人人人 香中考ら三分り八分倒 ちの飲 又きるる的はごとをありだって 京海人のはて自己を大人人を合い まるると入るとは、一多人好と る何以不以方名中一首的一个故 ちるれるできいしか合うんむるかいくやえりるのあきいしか合うんなるるかの 上看作者的改义不多的口信之间的这些三 一つきずずれあきめいる人はは置ぶこかられ 大国ざるたかのるの一支がをで ちんをとそくろしるろくをして ねしてるからるるろうろうちろう 小宝不れるなどあれてからかってあゆる るととる時要生活之中次多處家で監る 不大とかりようなあるるととして小生まると 極れてするろうい名のけるよ人かでいると うりをときってったもとも上不の記像いる 終る何いるうとける者とれるうでく うき改めるれらかんあること ねおぎゃ ノスなるの

るを多くは今日でくすらかるる風色 一なかかいころもうで大ける通網は大き るりがあるがとかりてある 不通るらけりは承本行出 サかすちからいつのようであったが る物代表きる歌的なお人、考し造人不能、名 からない。 九年不多你一多九十一多通纸 そろうよがインラうき故れれ大都代子がか とれるからいれず一いける人とよる からない。からないのからなったいかで ならりかったしているかろしてからか 松大的一套。到多是一大家的肠圣 中きなくまで、はないの温物出下をいか いおかったからこくなんにくろうからる るが一巻は上、苦なとちまるでかり、 らっる一からなるなるのろうなる 舎と格がしき」なる多地と同したあるね しまっくか 3 32 一大小るる子人と出くろ かきえず ないないと

一些多时多之名人的可中事多名大 地方地でもかりまりる なるからすりいまれのと 小き茶入りてのまけくはとくち けばいらきいなるかりのあいいとうです 多なるのればいちゅうしゅうとくまれ いかりろうちょうかのる けるしても、アキハかかかける一十 国者しれけられかけれる人者まそとは ハラをして本入られて多いませ 一部十分时务级记出入及有口信

一条税場のするによる続くるたる問い条碗時で 的どろようとなめいたのご 歩くがはり付代かなり人よりこうんと 发的比多的出一多院上一个时间 學付ける多級とるする場よ三半名で 系然とくよっえとらけいるかいなとと みるとうできいいんとあるお出 ふへくころとらはいかるがとかりよ めいらしはいとうなるがあべちとのよう まちつ出一極めとろした一人でける 信は多級はくりのちは、る中不多

一中のい切ってきとういきはりこうなるよ 一季しるるのもつい向ける、不動とは きては多いが益しれ中次代をいめさるである。を中次代を動るしいへいたとうらひける まけるとういれるしことれるう 冬入けるりでれるいるめのかとか中内の切りをあるかりというというというというとうです からからなるかめるかろう なとなられたけるよろとなったのうけ き中よある极るかくべ 中次がかとおよいちとうろて一文学をおや のきでき

中衛心不会以切各地人会被 なられからく機不と思うない 大季へんなかりたけらぎかろういほと 有例に歌うくるかいちとうくうら へるないとろるちりなり てからは角とれれる丁できるは 文個尾腦游子代数八指多了を一个分 少たけを全をけるつました置板回く 野地大数以及了一向て本奉代数八根 一一一置不代意、事しれる人太代の一般 きいだ

一大湖のゆきか小成多人代表を見き さんだろうなかとなりっとないう 八野しのうるっちからんなかっている はりるのといろろうろりあく 多日代外代機と一方とおうつか すっとりからろして~ころしの みれれがかちるりかるるとの他 年」もかのできさしたける いるのちましいろんかのあちる 凡好人的甚么人用、狗多中的艺艺了 凡好小的的代か大多分が了一八好多

が変現を中里したれかとちなける 和北面點北事和為八多了多多 からられ时をかい茶人は塩とが低い こうく大比強しあり小ちにを気は上 てるかとからとかるのという れく下よるたけてるといるおはた中 松い名ないとうちたるけるはいはいりしる 中心を付く五つ場る物也 らけてるなるなるというと男人が

一きなけられて使う大心とうのから 上传的你与月久我上去在一些人 家となるし、人と腹及れと物はすべき えせくふめいせんおとあるまるいち としてで人がえるとなが、分はんし ろいるこうはあるとかさいつへき はみからまとられるれるなよう きまとが放けては一速であるるるる は民文

秦人學生型代羽 大川はあくりかのからからればける 信いとう級与のかけり出くってんく

茶れなれるかなかとかとろう あるとうないけんしからと

くさかうし とのかとうだく らっちん 不へまるさけいかればなどようたろ

字成若必の的 紅め名の惟ると若ちら又経 会物で記しますとこれをなるととなる。 会部を見るのまかられるというなかれてきるのま中となれて服物を用るとなるなからりとなっているというというないのではないというというないのではないというできるからいくい 本へますくからきにあるとうないかける と何くぞしてあるけるへい

かという大道像天月系祭人 好事子野良路為有唐多茶全地震音 好甚分沿部路居物城的茶中作進多 かる子野民政府物先童系入下作進言答 好及多論儀人多表人借盡言答 好其不成湖桶茶入 好多子的瓶浴子奏之数做 が共事子文文有水滴茶入竹茶碗 好是了大意 好為 唐物之不入 許多大事 好多方席物必偽遊遊香天同隐從這金

右之るの、古之大かるの極极を 烧多了各场, 水入法付產者倒隐蓝雪 かよる少大意大物長緒為多数大 好多多两多天月忧屋香路盖 **的成金聚香本木金之大事** 好多大意多民人不能二眼點 炉多子面漢茶入金雅言谷之大 野終為

一人多多時趣山村 物之大事 你人之時年水外置核之大事 毫死 然外的将之大事 英之 犯 之 大事 金與 经之 升极心得之大事 雜 花之 大事 消船死之大事 安石榴花之大事 仰亚之大事

一大一大小人一大小 方於多人多小十七分像之都不可 朝颜之圣之为为人 とりとる合之大事 恭味 知见之,大事 各色不多人為之大事 金路 名之 傷之大事 移落之不之為人人 中学之大士和 初苦之器之陽之大事 不時之茶之陽之大富 為不之大事 不久 一個 年 在 之 大 事 月見之茶之為之大事 人松人数方屋之大事 茶入後城家之大事 茶之艺内張之大事 重求 之之大事 というからかり りかのないで

きるはちまのけるるではないのの さんとうはいまするととろう さるのれからるのれていた。 かしとういたまったかとざり からきくとうないるんとるいれないはあるとないない 色不多場場の限しめはするゆんとう 物うち THE STATE OF THE S おろう場がたんかりかませずれ南 なく有好な方面のかってい かいかくるなる中の多く の防然とるくるちなりねらからすり るるがあるるはの人が不 くからぬねつるずのかと代 6 そったか のできめの いるまい カテな

あるめ色のうかしょうく なりはころ られてきかけのま 及うしくろうんあるときなったいとうとうとうなったとうにあったからなったからないとうと なるはったんのろいろいろしても類は さるかんなあのうろかとしる れかなとろうととうかくらっていて かって出れるはれたないととなる 有法格本よる谷子了多一人 又をまくのまと園があるとうん うるかのちで解 くるり場の全個のあ 落陽之隐士 逐隊元刚 しるトス右の

